

発行75年！「戦後外信用大型航空切手」の収集のポイント [永吉秀夫] 2

カラー連載

思い出のマテリアル⑥
縁を感じるフランスのハート形切手
 家倉 猛さん(山口県) 1
 郵趣風土記～マテリアルでたどる地域郵便史～⑧ [板橋 祐己]
青函連絡船と青森郵便局 8
 封書10円時代の「記念・特殊切手」の楽しみ！⑨ [横山 裕三]
「凹版切手(上)」 10
 カラー版 魚木式郵趣③ [魚木 五夫]
相対評価の原則(2) 12
 拝見！10枚の愛蔵コレクション②③ [坂平 和博]
透明な材質の切手 14
 押さえておきたい「日本切手の壺」⑨ [山口 充]
瀬戸内海14円連合葉書 16

トピック

2025年各国の切手発行計画 22
「文具&手紙マルシェ2025」 28
緊急告知Part 2 静岡発、偽物手彫切手のその後
～2次被害に注意～ [公益財団法人 日本郵趣協会 稲葉 良一] ... 36

連載

著名人の手紙 ⑮⑰ [新垣 千尋]
作家 松本清張 31
 郵趣家の書齋～さまざまな切手収集の楽しみを訪ねて⑧ [佐伯 幸一]
長谷川良治さん～仲間と共に北陸郵便史を探求～ 32
 JPS研究会発信！ここに注目！収集のポイント⑩
ライオン紋章図案切手の魅力
 [秋山 正明/北欧切手研究会] 34
 軍事郵便収集の魅力⑩ [玉木 淳一]
満洲事変<下> 1931-32 38
 今月のミニベックス～みどころ紹介～②
第17回聴覚障害者切手研究会切手展 39
 風景印ピックアップ②
2024年(令和6)の風景印～後編～ 40

丸ごと！世界新切手ニュース(61カ国871種を掲載)

編集部おススメ！話題の新切手から ⑮⑯ 49
 ワールドスタンブナウ ⑳⑳ [福山 哲太郎]
出ました、12年ぶりのカタツムリ年！ 50
『ビジュアル版』(図版ページ) 52
『テキスト版』(解説ページ) 65

情報・コミュニケーション

3月のイベント・スケジュール 18
 日本新切手ニュース：「My旅切手シリーズ」第10集 ほか 20
 郵趣の目・国内情報：普通切手フィラポスト製100円が登場 ほか 25
 郵趣の目・海外情報：揺れる「英領インド洋地域」、CHINA2024出品一覧 ほか 29
 切手の博物館ニュース：2025年度企画展示予定 ほか 27
 BOOKS：「蛇の文化史」、「郵趣記念日 第1010号文」 41
 読者のページ おたより喫茶室 42

協会事業のページ

STAMP-SHOW2025開催案内 & 出品募集 & 寄附金のお願い 75
 「全国ミニ切手展」年間表彰 & 案内 76
 2025年新春交歓会(東京・大阪)開催報告 & JAPEX2024収支報告と謝辞 77
 研究会一覧 / 研究会・支部定例会 78
 開催録 / 次号予告 ほか 79
 公益財団法人日本郵趣協会のご案内 80

巻頭言

郵趣の健全な発展のために

1年前の『郵趣』で、同じ題名の「巻頭言」を書きました。その「巻頭言」では、郵趣における贋物に対し、公益財団法人 日本郵趣協会は徹底した情報発信を行い、郵趣家の被害を防ぐことを宣言しました。そうすることで、郵趣が健全に発展すると信じるからです。

当協会の3方針のひとつ「郵趣の深耕」は、切手、ステーションリー、カバーといった郵趣品に対する深い研究活動です。蓄積された研究結果は、郵趣品の贋物を、客観的かつ科学的に看破します。研究結果を基盤とした郵趣鑑定機関は世界中に数多くあり、われわれ郵趣家が安心して郵趣を楽しめるインフラとなっています。

1年前の「巻頭言」では、本誌「緊急告知 ネットオークションの贋物にご注意ください！」という手彫切手の贋物に関する記事と同時に掲載しました。一連の手彫切手贋物について、多くのオークションハウスや切手商、郵趣家、そして、われわれ日本郵趣協会が一丸となって注意喚起を行なっています。しかしながら、手彫切手贋物のネットオークションでの出品は依然として横行し、被害が拡大しています。

本誌36～37頁に、更に踏み込んだ記事を掲載しました。贋物出品者は切手の博物館の鑑定書が誤りと主張していますが、その根拠とした分析結果を発行した機関に、ジャパン・スタンブ商会が比較対照のために本物の手彫切手の分析を依頼した結果報告です。本記事を読むことで真実を知っていただき、正しい知識を身につけていただきたいと思います。

JPS理事長 山田 廉一



表紙の切手より

「フランスの歴史」(55・67¢)に凹版で描かれているのは、「ベルサイユ行進」。フランス革命勃発後の1789年10月、約7千人のバリの女性がパンの不足を訴え、ベルサイユ宮殿まで行進し、国王夫妻を首都に連行しました。フランス王室は100年ぶりにパリに帰り、国民議会もパリに移ったことで、この事件は社会改革が前進する契機にもなりました。

◆「切手女子流」切手の楽しみ方は、次号以降に掲載いたします。